

海外派遣留学プログラム月間報告書
(報告期間:2024/1/1 ~2024/1/31)

【生活面】

新年が明けて、新学期が始まりました。それと同時に新たな出会いや文化の発見がありました。特に興味深い出来事の一つは、ブルネイの交換留学生と同じ寮の部屋になったことです。異なる背景や言語を持つルームメイトとの生活は非常に大変ですが、お互いに文化の違いを尊重し合い、楽しく過ごしています。驚きと喜びに包まれた別の出来事は、ブルネイの王様の結婚式のお知らせでした。結婚式の前日の儀式のライブ中継を見せてくれました。地元の人々の祝福の中、留学生としてその瞬間を共有できたことは特別な経験でした。王様の結婚式の模様は地元メディアでも大きく取り上げられ、異文化交流の一環として興味深い経験になりました。



写真 47、48 結婚式の写真

次に、現地のスーパーマーケットについて少し話します。最近は日本食が恋しくなり、ほとんど自炊をしています。隣町にイオンがあるので、日本の食材や調味料はイオンで購入しています。また、現地のスーパーマーケットは、日本とは異なる商品構成や陳列がされていて、その多様性に興奮しました。地元の新鮮な野菜や果物、地域独自の調味料やスパイスなど、異なる国の食材に触れることで、食文化の違いを学ぶことができました。また、地元の特産品や伝統的な商品がスーパーマーケットの棚に並ぶ様子は、地元のスナックやお菓子、地域限定の商品を試してみることで、留学生活がより豊かなものになりました。また、スーパーマーケットで手に入る調味料や調味料の違いにより、自炊がますます楽しみになりました。

スーパーマーケットでの買い物は、生活の向上に寄与する一方で、言葉の壁や地元の通常の買い物慣習に慣れるまでの過程で挑戦もありました。特に商品ラベルの言語が異なるため、初めての商品を選ぶ際には手間取ることもありました。また、地元の方々に質問をすることで、新たな言葉や文化を学ぶ機会にもなりました。

少しだけ、苦手な点があります。それは生鮮食品とドリアンの匂いがきついことです。生鮮食品は、パックされているものではなく、裸のまま売られているので匂いがきつく、コバエが飛んでいるのが気になります（写真 40）。また、「フルーツの王様」とよばれるドリアンは匂いがものすごくきついです。建物に入った瞬間から匂います。現地のスーパーマーケットは日本の 1/2 倍くらいの価格で購入できるので、食費は安く済みますが、高頻度では行きたく無いので、週末にまとめ買いをしています。



写真 39 フルーツが豊富



写真 40 魚介の匂いがきつい

【勉強面】

新しいセメスターが始まり、新しいクラスに参加することになりました。今期では Fluid Mechanics と Analytical Chemistry の 2 教科を履修することに決めました。前期に履修した Data Analytics は専門性が高く、内容が前学期からの続きになっており、英語で学ぶには難しすぎたため、単位を落としてしまいました。その反省点を踏まえて、今回は 2 つとも自分の専門分野を履修しています。また、今までに学習したことがある内容で、日本語で元々理解しているので、今のところはスムーズに勉強できています。異なる国で学ぶことで、多様な視点やアプローチを学び取り、自分の専門分野をより幅広く理解できます。新しいクラスでは、新たな友達を作り、英語力をより高めたいと思います。

【休日の過ごし方】

休日や週末は、留学先の地域を探索し、新たな発見や体験を追求しています。最近では、マレーシアのイッポーで有名な「dim sum」を堪能しました。この dim sum は中華料理で朝食として食べられるようです。地元の人たちと共に食卓を囲み、交流を深めることで、留学生活がより充実したものになっています。写真 41 の食べ物はチマキに似て餅米が使われていました。写真 42 の食べ物は蒸し料理や揚げ物です。日本でも飲茶として知られていて、点心や焼売がとても美味しかったです。他にも、生春巻きの料理や胡麻スープなどもありました。とても美味しかったので、また行きたいです。



写真 41



写真 42

【課題と今後の展望】

留学生活も残り 4 ヶ月弱になりました。引き続き言語や文化の違いに挑戦しながら、専門分野での発展もしていきたいです。また、先月、フィリピンのスラムでボランティアをしたみたいに、マレーシアでのボランティア活動に参加したいと考えています。地元の人たちとの交流を通じて、国際的な視野を広げ、英語力向上を続けることが今後の展望となっています。

以上、留学生活における 1 月の月間報告でした。